OSAKA CITY UNIVERSITY
Campus Map

SUGIMOTO Campus
杉本キャンパス

広大な敷地に7つの学部と大学院が集まる活気あふれるキャンパス。
大学図書館などの機能を担う学術情報総合センターをはじめ、人工光合成研究センターなどの
多彩な研究施設や設備を完備。高度で豊かな学びの機会を提供します。

1 1号館
2 商学部棟
3 経済学部棟
4 法学部棟
5 文学部棟
6 経済研究所棟
・証券研究センター
・人権問題研究センター
・創造都市研究科
・都市経営研究科
7 都市研究プラザ
8 田中記念館
9 保健管理センター
10 河海工学実験場
11 学術情報総合センター
12 理学部棟
・数学研究所
・南部陽一郎物理学研究所
13 工学部棟
14 生活科学部棟
15 工作技術センター
16 生活科学部棟別館
・心理臨床室
17 2号館
・都市健康・スポーツ研究センター
・複合先端研究機構
18-1 全学共通教育棟
18-2 OCUラーニングセンター（学修支援推進室）
・Global Village
19 4号館
20 基礎教育実験棟
21 第1学生ホール
22 第2学生ホール
23 第3学生ホール
24 スポーツハウス
25 ゲストハウス
26 インキュベータ
27 高原記念館
・地域連携センター
28 学生サポートセンター
29 共通研究棟
30 人工光合成研究センター
31 理系共通実験棟
32 本部棟
33 戦没学友の碑
34 五代友厚像

都市型総合大学の教育拠点

全学共通教育棟

全学共通教育棟は、知の高度化、情報化に対応した全学共通教育が展開できるよう、マルチメディアを利用した教育設備を備えた施設です。また、自習や学生同士でのグループディスカッション用に自習室・交流談話室を設け、学生にとって快適な教育環境を整えています。具体的には、少人数体制の授業から300人程度の学生が受けることのできる授業まで、幅広くさまざまな授業形態に応じた大・中・小講義室が設置されています。

＞ 外国語特別演習室

語学教育を目的とした教室で、全学共通教育棟の4階に5室設置されています。CALLシステムやAV機器を取りそろえ、学習者用パソコンと教師用パソコンをネットワークで接続し、インターネットを利用した語学の授業などが行われています。

＞ 図形科学演習室

3次元の立体図形を正しく2次元の図に描き表すための技術を学ぶため、製図道具を用いて手描きで作図する図形科学教育を行うことを目的とした演習室です。建築や都市に関する製図を行う授業なども行われています。

感性を拓く
精選された149の実験テーマ

基礎教育実験棟

基礎教育実験棟では、主として理科系基礎教育科目の実験を提供しています。また、文系学生のための実験科目「体験で知る科学と技術」も開講しています。

＞ 化学実験室

「一人ひとりに安全を 一人ひとりの安全がみんなの安全に」を合い言葉に、2つの大実験室（実験台数92台、66台）で学生は1人1台の実験台を使用し、陽イオンの定性分析や合成実験などを行い、化学実験の基礎を習得します。実験の初めに安全教育を実施したり、有害化学物質の取り扱いをドラフトチャンバー（局所排気装置）内で行うことで、実験中の安全を確保しています。紫外可視分光光度計や赤外分光光度計などの分光装置が配置された測定実験室では、光（電磁波）を利用してミクロな分子の構造を調べる先端測定技術の基礎を学ぶこともできます。

＞ 物理学実験室

1階、2階、5階に大小合わせて約20の物理学実験室があります。光を扱うための暗室実験室や混信を防ぐための特別な電磁波シールド室なども備えています。各実験室には実験テーマごとにさまざまな実験装置が配置され、実験テーマは実験棟屋上で行う光速の測定など20以上あります。力学・熱力学・光学・電磁気学、さらには、物性・波動・エレクトロニクス・原子物理学といった幅広い分野の実験ができます。実験は2人1組で行い、実験を通して基礎的な物理現象とその法則性について理解を深めます。

＞ 生物学実験室

分類学・分子生物学・発生学・生態学・生理学など多岐にわたり、生命と自然を基礎から学ぶ実験・実習を行います。基本的な生命現象を観察し、結果を考察することにより生命科学の基礎を身に付けます。インキュベーター、マイクロピペット、マイクロメーター、1人1台の生物顕微鏡と実体顕微鏡などの操作も習得します。

＞ 地球学実験室

化石・鉱物・岩石などの鑑定や分析、大型水槽実験での地層のでき方、水の地球化学分析、パソコンによるデジタル地形と3次元可視化、地形の立体視と活断層の認定などといった幅広い分野の実験ができます。実験は主にグループで行い、実験を通して基礎的な地質現象とその法則性について理解を深めます。

次世代型の循環可能なエネルギーの実用化に向けて

人工光合成研究センター

Research Center for Artificial Photosynthesis (ReCAP)

最先端の光合成研究成果をもとに、次世代型クリーンエネルギーの開発を目指し、技術開発と実用化を加速するための施設として、人工光合成研究センターをオープンしました。当センターでは、産学官連携による企業と大学との共同研究を推進しており、持続可能なエネルギー循環型社会構築のための研究開発に取り組んでいます。また2016年度より文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定を受け、国内外の研究者と共同で光合成・人工光合成研究を推進しています。

災害知の社会実装によるいのちを守る都市づくりを目指して

都市防災教育研究センター

Center of Education and Research for Disaster management (CERD)

都市大阪を基盤として、防災教育・防災研究を推進するため、2015年3月に都市防災教育研究センターを開設しました。当センターでは、2011年の東日本大震災後に始動した全学的な組織である都市防災研究プロジェクトの成果を踏まえ、災害リスクの評価、災害対応力の向上、社会実装に関する研究を推進するとともに、防災教育および防災リーダーの育成も行います。国内外の防災関連機関と連携し、巨大複合災害に向けて、最新の災害研究、情報技術、都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指します。

専門に特化した多彩な施設

研究施設・附属施設

都市健康・スポーツ研究センター

Research Center for Urban Health and Sports

都市に住まう人々が、健康的でより活動的なライフスタイルの確立と向上を目指すための基礎的研究と応用的研究を行っています。また、全学共通教育として講義とスポーツ実習を提供するとともに、さまざまな健康・スポーツ関連事業への支援、産学共同事業などの社会（地域）貢献にも取り組んでいます。

人権問題研究センター

Research Center for Human Rights

1973年に設立した、日本の大学では初めての人権問題研究機関です。女性差別や部落差別、民族差別をはじめとするさまざまな人権問題について研究しており、「ジェンダーと現代社会」や「現代の部落問題」、「地球市民と人権」などの科目を全学共通教育に提供。センター内には人権に関する図書室もあります。

都市研究プラザ

Urban Research Plaza

本学の都市研究の伝統を受け継ぎ、都市の再生と先端的都市論の構築を目指して活動しています。所属する研究者は大学と都市の現場を行き来し、研究やまちづくりに取り組んでいます。また、国内3か所、海外7か所の拠点をベースに学際的共同研究、地域貢献、国際交流を推進するとともに、豊富な研究資料をそろえた「都市文庫」の整備、若手人材育成、国際学術雑誌の発行も手がけています。

大学教育研究センター

Center for Research and Development of Higher Education

専任・兼任研究員が大学教育に関する研究、調査、企画、提案および提言（調査・研究部門）、大学教育に係る点検、評価および改善に関する活動（評価部門）を進めています。また教育方法の開発、教育・学修支援及び全学的FD推進の支援並びに各学部研究科等へのFD支援（教学・FD部門）などもセンターの重要な役割です。

英語教育開発センター

English Education Development Center

全学共通教育における英語教育を統括し、学生に求められる英語運用能力を育むため、カリキュラムの作成・改善を行っています。また、自主的に学びたい学生をサポートするために、OCUラーニングセンターで英語学習支援を提供するほか、「English Café」（自習室）をGlobal Village内に開設し、「English Café Talk」などさまざまなイベントを実施しています。

その他の研究施設

- 文化交流センター
- 情報基盤センター
- 国際センター
- 地域連携センター
- 数学研究所
- 南部陽一郎物理学研究所
- URAセンター
- 複合先端研究機構
- 証券研究センター
- 杉本地区RI施設
- 工作技術センター
- 大学史資料室

● 田中記念館

● 高原記念館

学術・文化交流の創造拠点

学術情報総合センター

約250万冊の蔵書を有する国内最大規模の大学図書館、情報処理・ネットワークの中核を担う大学情報化の拠点、情報教育の場という3つの機能を統合した大阪市立大学のシンボルともいえる施設です。充実した教育・研究環境を備えた創造空間として、また、学術・文化交流の情報発信拠点として、年間約50万人に利用されています。阿倍野キャンパスには、学術情報総合センター医学分館があります。

ラーニングコモンズ

メインカウンター

Point1 高度情報化時代に対応したネットワークシステム

キャンパスLANの拠点として高速のネットワークを整備。国内外への情報発信が容易に行え、最先端の研究を支えています。また、情報教育実習室や情報教育PCルームなどには多数のPC設備やさまざまな分野のソフトウェアを設置。IT環境を充実させて、情報リテラシー教育の実践に生かしています。

PC設置状況 ※2019年10月更新予定

- 情報教育PCルーム 120台
- 情報教育実習室1：30台、2〜4：各50台
- ラーニングコモンズ 20台

Point2 豊富な蔵書、Webサービスなど多彩なサービスで勉強・研究をサポート

図書や雑誌、Web上で自由にアクセスできる電子資料だけでなく、レポート作成やプレゼン練習などに活用できるグループ学習室やラーニングコモンズなど、多様な学生ニーズに対応した施設も充実。
さまざまな情報や知識との出会い、人との交流を通して、知の探求が深まります。

Point3 学びから憩いまで多種多様な施設

1F 展示コーナー

展示コーナーでは、本学の歴史に関する大学史資料室の企画展示を中心に、本学所蔵の貴重書などの特色ある資料展示も行っています。

屋上 学情庭園Asteria（アステリア）

テーブル型の大きな花壇と椅子があり、季節の緑と眺望を楽しみながら読書や歓談などしていただけます（園内は無線LAN接続可能です）。

その他、学生生活を豊かにするさまざまな施設を完備

5F

- AV資料視聴ルーム：名作映画や音楽などを鑑賞できる
- 英語学習コーナー：英語をはじめ語学学習教材が充実
- 語学学習ルーム：ブース席で発音練習もできる

ABENO Campus

阿倍野キャンパス

JR・地下鉄「天王寺」駅・近鉄「大阪阿部野橋」駅から徒歩約10分の好立地に位置する、
医学・医療・看護学に特化した阿倍野キャンパス。
附属病院も隣接しており、地域医療の中核的かつ高度な
総合医療機関としての役割も果たしています。

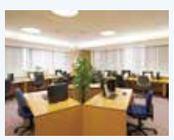
医学部附属病院

地域医療における中核的かつ高度な総合医療機関としての役割を果たし、患者さんの医療ニーズに応えるため、先端的な医療設備・機器の充実に努めています。厚生労働省、大阪府・大阪市等からの各種指定・認定に基づき、高度な医療の提供に努めています。また、2018年4月には厚生労働省からがんゲノム医療連携病院の指定を受け、ゲノム医療センターを新たに設置するなど、最先端の医療にも積極的に取り組んでいます。

学術情報総合センター医学分館 1

あべのメディックス8・9階

医学・医療・看護学関係の資料を中心に、約18万冊の図書・雑誌・視聴覚教材を利用できます。静かな閲覧席・閲覧個室に加え、ディスカッションやグループ学習に利用できるスペース、「i-コモ（ラーニングコモンズ）」を設けています。また、多様な電子情報の閲覧や国試対策の学習にも使えるパソコン、インターネット環境も整っています。



スキルスシミュレーションセンター（SSC） 2

あべのメディックス8階

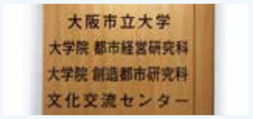
各種シミュレーション器材をそろえた、医療現場等で役立つさまざまな技術をトレーニングすることができる施設です。

医学部シンボルマーク

梅田サテライトキャンパス

〒530-0001
大阪市北区梅田1-2-2-600
（大阪駅前第2ビル6階）

- JR東西線「北新地」駅下車、徒歩約3分
- JR「大阪」駅下車、徒歩約10分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田」駅下車、徒歩約5分
- 地下鉄御堂筋線「梅田」駅下車、徒歩約10分



その他の施設

あべのハルカスやグランフロント大阪など話題のエリアに、多彩な施設を展開。遺伝子学や健康科学などの各種教育研究機関やサテライトキャンパスを整備しています。学生だけでなく広く一般にも開放している施設があります。

理学部附属植物園

1950年に設立され、さまざまな植物を遺伝子資源として収集・育成し、展示・公開しています。ここには、日本の代表的な森林が樹林型として復元されています。植物園は、教育と研究に幅広く活用されるとともに、自然学習や生涯学習の拠点にもなっています。市民講座や公開研究会も行っています。また、近年では絶滅危惧植物の収集・育成にも力を入れており、その実績が認められ、2018年12月には植物園では全国初となる認定希少種保全植物園の認定を環境省より受けました。今後は地域の方々との連携を一層強化しつつ、さらに域外保全の取り組みを進めます。

〒576-0004
大阪府交野市私市2000

- 京阪交野線「私市（きさいち）」駅下車、徒歩約6分
- JR学研都市線「河内磐船」駅下車、徒歩約20分

健康科学イノベーションセンター（CHSI）

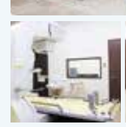
2013年7月に、グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」内に健康科学の研究拠点として開設されました。「みんなで“拓く”健康科学イノベーションの“ベースキャンプ”」をスローガンに、産・学・官・医・消費者が一緒に連携できる健康科学推進拠点を創ることを目標にしています。

〒530-0011
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館タワーC 9階

- JR「大阪」駅下車、徒歩約7分
- 地下鉄御堂筋線「梅田」駅下車、徒歩約10分
- 阪急「梅田」駅下車、徒歩約10分

医学部附属病院先端予防医療部附属クリニック
MedCity21

2014年4月に、公立大学法人として全国で初めて健診事業を行う施設を「あべのハルカス」21階に開設しました。高い専門性を生かして疾病の早期発見・早期治療の実践に取り組みます。また同時に、蓄積した健診データ等を基に新たな診断方法や治療法を研究開発することで、予防医療の推進に寄与することを目指しています。

〒545-6090
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス21階

- JR・地下鉄「天王寺」駅、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅すぐ